

指定校番号	28003	学級活動		児童会・生徒会活動		学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	--	-----------	--	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立庚午小学校	校長	藤川照彦	生徒指導主事	大下聡子
-----	-----------	----	------	--------	------

**取組事例名 『体力週間(長縄跳び)』**

**取組のねらい『一人ひとりとみんなで伸びる』**

- 心身の健全な発達についての関心を高め、運動に親しむ態度を育成し、連帯感を深める。

**取組の具体的内容『子どもも教師も一緒になって』**

- 1 体育委員会から目的や計画を提案し、各学級で、学級目標、練習計画を決定し、役割分担等を行う。
- 2 休憩時間や体育の時間等を活用し、長縄の練習に取り組む。
- 3 学級活動、朝及び帰りの会を活用し、活動の成果や課題を話し合うとともに、課題の改善に向けた話し合いを行う。
- 4 大休憩・昼休憩を利用し、記録会を行う。記録会は3日間に分けて行い、1回ごと結果を廊下に掲示し、問題点や工夫点について話し合い、改善を図る。
- 5 結果を校内放送で発表し、取組の成果を評価する。
- 6 児童アンケートを行い、活動を振り返る。

**取組の課題・創意工夫『仲間とうまく跳ぶにはどうしたら良い?』**

**【児童の取組】**

- 活動のねらいを学級で話し合い、集団の一員として、自主的・自立的に活動に取り組む。
- 各学級で決定したねらいを達成するための、練習計画、役割分担、練習方法等について話し合い、決定する。
- より多く跳べる方法について、適宜、学級で話し合う。(跳ぶ順番、跳び方、長縄が苦手な児童へのサポート方法、仲間への声かけ等)

**【指導者の取組】**

- 長縄跳びに意欲的に参加できていない児童に対し、頑張っていることを個別に褒めたり、認めたりし、当該児童が意欲的に参加できるようにする。
- 体育の時間等を活用し、児童がじっくりと練習に取り組むことができる時間を確保する。
- 国語科の時間等を活用し、よりよい話し合い活動を行うための指導を行う。

**取組の成果(効果)『私の成長・仲間の成長・学級の成長』**

**【子どもの感想から】**

- ・ 長縄跳びが上手になりました。あと、長縄跳びが大好きになりました。
- ・ 1年生のときは、あまり外に出て遊んでいなかったけど、長縄跳び大会が近くなると、みんなで外で練習をしていたら、たくさん外で遊ぶようになって、体力がついてとても楽しかったです。
- ・ 最初は、後ろから押してもらっていたけど、跳べなかったです。でも練習をしてから3週間くらい押してもらって、今では、跳べるようになって、チームのみんなが「よくがんばったね」と声をかけてくれました。跳べるようになったのは、チームのおかげだったと思います。
- ・ M君が最後の大会の日、長縄を跳べるようになってすごいなと思いました。練習を一生懸命したら、できないこともできるようになるんだと思います。
- ・ 長縄に取り組んで学んだことは、人を思いやることです。跳べない子がいたら、後ろから押してあげたり、アドバイスをしてあげて皆で跳べるようにして、きずなを深めました。努力をして皆の心がわかり始めると、結果も一緒についてきてくれるのです。
- ・ 練習の時、いっぱい引っかけたけど、せめる声はなく、「ドンマイ」「だいじょうぶ。集中」という声が聞こえました。みんなのはげましの声は、勇気づけてくれる魔法の言葉だなと思いました。

### 【教師の振り返りから】

- 不登校児童を誘って参加させることができたり、足の不自由な児童が縄に入れるスピードを工夫したりするなど、学級や個々の児童の実態に応じて、工夫することができた。(6年)
- 長縄跳びが苦手だった児童が、できなかったことができるようになり、成功体験を味わうことができた。(1年)
- 学級で毎日練習し、記録が伸びていくことを通して、児童が達成感をもつことができた。(3年)
- 友達同士で教え合ったり、認めあったりすることを通して、学級内の仲間意識が高まり、学級のまとまりがでてきた。(3年, 5年)
- 休憩時間, うまく跳べない1年生を見た6年生が、1年生に跳び方をアドバイスしたり、体育の授業で4年生が上手に跳ぶ姿を3年生が見て、3年生から4年生に「教えてほしい。」と依頼したため、3年生からの依頼を受けた4年生が3年生に指導したりするなど、異年齢による交流が促進された。(1年)

### 【アンケート結果】

年	①長縄が 上達した		②友だちのことが分か ったり、仲良くなったりした		③外で遊ぶよう になった	
	思う	思わない	思う	思わない	思う	思わない
1	94%	6%	91%	9%	87%	13%
2	94%	6%	88%	12%	70%	30%
3	97%	3%	86%	14%	80%	20%
4	91%	9%	82%	18%	76%	24%
5	98%	2%	91%	9%	67%	33%
6	95%	5%	86%	14%	51%	49%
全校	95%	5%	87%	13%	72%	28%



### 今 後 の 展 開『達成度を評価』

- アンケート結果「②友だちのことが分かたり、仲良くなったりした」の項目において、すべての児童が「思う」と回答できるための取組となるように検討を重ねる。
- 回数にこだわる傾向があるため、児童に対して、適宜、取組のねらいを確認する場面を設定する。
- 「個人は勿論、学級がどれだけ成長できたか。」ということを各学級で評価することができるように「振り返り」を充実する。

### 他校へのアドバイス『毎年の積み重ね』

- 成長段階によって、めあてを変えて取り組むと良い。
- 例) 低学年は長縄を跳べるようになること。学年が上がれば、クラスの目的を考え、達成することに焦点を当てる。
- 長縄跳びの長所は、少し難しいことに挑戦できること、1年生から6年生まで参加可能であること、子ども達が自ら作戦を立て、その工夫や努力が数値として短時間でフィードバックされることである。